

せいしょ ぼうけん ものがたり 聖書の冒険物語

だいごう
第13号
ねんがつにち
2022年3月25日

は せいし ひ カビの生えたパンでだまされる話と、太陽が静止した日

こども きだい しょう
子供のためのヨシュア記第9～10章

イスラエル軍がエリコに勝利し、
次いでアイの町も征服されたことが
国中に知れ渡り始めると、カナン人
は恐れをなした。それで、より大き
な町々の支配者らは、連合軍を結成
してイスラエルと戦おうと決意した。

その一方、できることなら、侵略者
達と和平条約を結んだほうがいい
だろうと考える町もあった。ギベオ
ンがその1つで、町の長達は自分達
を守るための策略をめぐらした。

ギベオンはアイからそれほど離れ
ていなかったのですが、すぐに手を打た
なければ、次は自分達が滅ぼされて

しまうかもしれないと思った。そこで
彼らは、数人の男達を遠くの国から
やってきた大使のように変装させた。
ロバには古びた袋と、ぶどう酒
を入れるつぎはぎの革袋をのせ、男
達には履きつぶした履物を履かせ、
着古した服を着させて、カビの生え
たパンを持たせた。彼らは、ヨシュ
アの野営していたギルガルにやって
来て、言った。「私達は遠くの国から、
平和条約を結んで下さるようお願い
するためにやって来ました。」

イスラエルの指導者達の中には、
この旅人らしい者達をあやしみ、
注意深く観察する者達もいたが、

だれもその正体を見破ることはでき
なかった。そこでヨシュアは、彼らが
だれで、どこから来たのかとたずね
た。

彼らはわざと長旅でつかれた切った
ような声で言った。「私達は、遠くの
国から旅して来ました。私達は、あ
なたがたの神があなたがたをエジプ
トから導き出すためにして下さった
偉業や、アモリ人の王達を征服する

のを助けて下さったことを耳にしま
した。」もし遠くから来た旅人なら、
ヨシュアがエリコやアイを征服した
ことは知らないはずなので、身元が
バレないように、それらの町につい
ては口に出さぬように努めた。

彼らの言ったことをヨシュアやイ
スラエルの長達が信じ始めた様子を
見ると、よそ者達は持ってきた食べ
物を指して言った。

ヨシュアについての他の物語「川にできた大通りと、
最高に型破りな戦い」も、読んでね。

「これは、私達^{わたしたち}が持^もってきたパンです。家を出た時^いには、まだ焼きたてだったのに、固^{かた}くなってカビが生えてしまいました。ぶどう酒^{しゅ}の革袋^{かわ}も、入れた時^いは新^{あたら}しかったのに、古^{ふる}くなってひび割れてしまいました。着^きている服^{ふく}も履物^{はきもの}も、長旅^{ながたび}のせいではボロボロです。」^{かれ} 彼らは悲^{かな}しげに言^いった。

その話^{はなし}を聞^きいていたヨシヤも他の長達^{ほか}も、彼ら^{かれ}を信^{しん}じてしまった。カビの生えたパン^はを見ては、反論^{はんろん}できなかつた。それでヨシヤは彼らと平和協定^{へい}を結^{むす}び、彼ら^{かれ}を生かしておくこと、彼らの町^{まち}を攻撃^{こうげき}しないことを約束^{やくそく}したのだった。

ところが3日^{みっか}もたつと、彼ら^{かれ}のうそはバレてしまった。ヨシヤも他の者達^{ほか}も、まんまとだまされてしまったことで、どれほど自分達^{じぶんたち}の愚かさ^{おろ}に腹^{はら}が立^たったことだろう。それでも彼らは、主^{しゅ}の御前^{みまへ}で誓^{ちか}いを立^たてた

ために、約束^{やくそく}を守^{まも}った。ギベオンの町^{まち}にやっ来て来た時^き、彼ら^{かれ}を生かしておいたのだ。とは言え、うそをついた罰^{ばつ}として、ギベオン人^{びと}はイスラエルのどれいになることが言^い渡^{わた}された。

どうして、ヨシヤやイスラエルの長達^{ちようたち}は、このようなずる賢^{がしこ}い人々^{ひとびと}にだまされてしまったのだろうか。聖書^{せいしょ}には、イスラエルの人々^{びとたち}がギベオン人^{びと}達の持^もってきた食^たべ物^{もの}は調べたが、神^{かみ}の指示^{しじ}を求^{もと}めることはしなかつたと書^かかれている。つまり、訪問者^{ほうもんしゃ}らの外見^{がいけん}とカビの生えたパン^はを見て、不審^{ふしん}には思^{おも}ったが、そのことについて主^{しゅ}にたずねなかつたということだ。

神^{かみ}は、いかにしてエリコとアイを攻^せめるかについて指示^{しじ}を与^{あた}えて下さ^{くだ}った時^{とき}と同じく、このことについても指示^{しじ}を与^{あた}えようとしておられた。ところが、ヨシヤも部下^{ぶかたち}達^ども、2度

の勝利^{しょうり}で少々^{しょうしょうたか}高^かぶって自信過剰^{じしん かじよう}になっていたのか、このようないっけんめい白^{はく}に思^{おも}えることに関^{かん}して、神^{かみ}にたずねる必要^{ひつよう}はないと思^{おも}って油断^{ゆだん}したために、着古^{きふる}した服^{ふく}や固^{かた}くなったパンでだまされてしまったのだ。もしこのことで神^ちに知恵^えと導^{みちび}きを求^{もと}めていたら、彼ら^{かれ}はだまされな^すいで済んだことだろう。ところが、だまされてギベオン人^{びと}と平和条約^{へいわじょうやく}を結^{むす}ぶだけで事^{こと}は終^おわらなかつた。ヨシヤがエリコとアイを征服^{せいふく}したこと、そしてイスラエルがギベオンと平和条約^{へいわじょうやく}を結^{むす}んだことを聞^きいて、カナンに住^すむアモリ人^{びと}の王^{おう}の一人^{ひとり}アドニゼデクが、危機感^{ききかん}を募^つらせたのだ。

アドニゼデク^{たみ}の民^{たみ}もまた、同様^{どうよう}だった。というのは、ギベオン^{じゅうよう}が重要な町^{まち}であって、アモリ人^{びと}の王^{おう}達の町^{まち}にも等^{ひと}しく大きな町^{おお}だったからだ。また、ギベオンの戦士^{せん}達は^し屈強^{くつきよう}なことでも知られていた。その彼ら^{かれ}がイスラエル^しと同盟^{どうめい}を結^{むす}んだと聞^きいた

アドニゼデク^{おう}王^わは、すぐさま^{ほか}他のアモリ人^{びと}の王^{おう}達^{たち}に緊急^{きんきゅう}メッセージを送^{おく}って、この深刻^{しんこく}な事態^{じたい}を伝^{つた}えた。

「私達^{わたしたち}に加勢^{かせい}して、ギベオン^{たか}と戦^{たたか}うのを助^{たす}けて下さい。彼ら^{かれ}はヨシヤとイスラエル人^{びと}と、和平^{わへい}を講^{こう}じてしまいました。」それで、アモリ人^{びと}の王^{おう}達はギベオン^{おう}を攻撃^{こうげき}するために、連合軍^{れんごうぐん}を結成^{けっせい}した。

まもなくしてヨシヤは、ギベオンから援軍^{えんぐん}を求^{もと}めるメッセージを受け取^うった。「どうか、あなた^とのしもべら^みを見捨^すてないで下さい。すぐに来^きて、私達^{わたしたち}を助^{たす}けて下さい！」

自分^{じぶん}をだました民^{たみ}を助^{たす}けるというのは皮肉^{ひにく}に思^{おも}えるが、その地^ちから追^おい出^だすようにと神^{かみ}に命^{めい}じられていた邪悪^{じゃあく}なカナン^{おう}の王^{たち}達^{たち}に、イスラエルがすき^あを与える余裕^{よゆう}などないことは分^わかっていた。

しかし今回は、計画を実行する
確証として、ヨシュアは最も大切な
導きを主に求めた。ギベオンのこと
から貴重な教訓を学んでいたため、
神の指示を求めることを決意してい
たのだ。

主はヨシュアに答えて、こう言わ
れた。「彼らを恐れてはならない。
わたしはすでに彼らをあなたの手
に渡したからである。彼らの誰一人と
して、あなたの前に立ちはだかるこ
とはできない。」主は、彼らと共に
いると約束されたのである。

神からの進軍の合図を受け取るや
いな、ヨシュアは計画を執行した。
いつもの軍に加えて、最も優れた戦
士達を召集し、夜通し進軍したのだ。
彼らが夜明けまでにギベオンに着い
たため、敵は意表を突かれた。

激しい戦闘が続いた後も、神はひ
そかにいくつかの切り札を用意して
おられた。神は敵の上に大きな雷を
降らせ、イスラエル軍の刃にかかっ
た者よりも多くの敵兵が死んだのだ
だった。

ヨシュアと彼の率いる軍が自分達
にできることをした時、主は超自然
的に介入され、彼らを助けて下さっ
た。それでも5人の王達とその部下
達が戦闘から逃れてしまった。そこ
でヨシュアは、神がギルガルで言わ
れた完全なる勝利についての約束を
思い出していた。つまり、彼の前に
立ちはだかる者は一人もいないとい
うことである。

ヨシュアは、これが決定的な戦い
であることを悟った。つまり、カナ
ンの勢力を絶ち、海に通じる極めて
重要な道を開くことになるというこ

とだ。反対勢力を逃すわけにはいか
なかった。

ところが、問題が一つあった。日が
かたむき始め、影が長くなりつつ
あったことだ。もし日が山の向こう
側に沈んでしまったら、敵は闇に乗
じて脱出し、軍の増強を図って再度
結託するだろう。

その瞬間、ヨシュアはイスラエ
ル軍の前で大声を上げ、こみ上げて
くる信仰から、主に呼ばわった。
「日よ、ギベオンの上にとどまれ！
月よ、アヤロンの谷にとどまれ！」

すると、ヨシュアとその軍が敵を

追撃し、イスラエル軍が敵を完全に
制圧するまで、太陽は戦場の上空に
とどまった。ほぼ丸一日、太陽は上
空にとどまり、沈まなかったのだ！
イスラエル軍が敵を完全に征服する
まで、神は最も驚異的な方法で介入
され、必要な時間をかせいで下さ
ったのだ。

この大勝利の後も、ヨシュアはイ
スラエルの敵を次々に制圧してい
った。聖書には、こう書かれている。
「イスラエルの神、主がイスラエル
のために戦われたので、ヨシュアは
これらすべての王たちと、その地を
いちどきに取った。」（口語訳聖書、
ヨシュア記 10:42）

このすごい聖書の登場人物について、もっと読んでみよう。

「聖書の偉人：ヨシュア」を見てね。